

Accu
Tools™

e L - 7 2 0

二酸化炭素ガス
リークディテクタ
取扱説明書



AccuToolsのeL-720二酸化炭素ガスリークディテクタをお買い上げいただきありがとうございます。小さく高感度なeL-720はどんな漏れも簡単に効果的に検知できます。

仕様：

外寸	203 × 63 × 57 mm
重量	425 g (乾電池を含む)
電源	単3アルカリ乾電池 4本
バッテリー寿命	20時間
感度(High)	400 ppm 以下 (350 ppm 雰囲気で)
感度(Low)	4000 ppm 以下 (350 ppm 雰囲気で)
センサ寿命	2年以上
作動温度	0 ~ 50℃
暖気時間	10秒
反応時間	1秒以下
リセット時間	1秒以下
プローブの長さ	30 cm

操作説明

1. ボタンを押して、ユニットの電源を入れてください。ユニットは3回ピープ音を鳴らし、全てのLEDが点灯します。
2. ユニットは暖気とセルフキャリブレーションを10秒間行い、その後定期的なピープ音になります。
3. ユニットは最初、高感度（400 ppm）にセットされます。大きな漏れのある場所で、0調整を行うには低感度に切り替えてください。ボタンを2度（マウスをダブルクリックするように）押してください。LEDが右から左に点灯し、高い音から低い音に変化し、通常の警告音に戻ります。これで低感度（4000 ppm）にセットされました。
4. 高感度に戻すにはボタンを2度押してください。LEDが左から右に点灯し、低い音から高い音に変化して、通常音に戻ります。
5. ユニットを大気中の二酸化炭素レベルにリセットするには、ボタンを1度押してください。LEDが瞬間点滅し、リセットされたことを表示します。リセットされたレベル以下の二酸化炭素には反応しません。
6. プローブを検査する部分から5 mm程度浮かせて、50 mm/sec以下の速さで動かしながら、漏れを探してください。
7. 漏れを検知すると警告音が早くなり、LEDが漏れの程度により点灯します。
8. ユニットの電源を切るには、ボタンを押し続けてください。
9. 約10分間何も操作をしないと、バッテリー保護のため自動的に電源が切れます。

バッテリー

- ・ 左端の（点滅している）LEDはバッテリー寿命を表示し、バッテリーが切れそうになるとほの暗くなり、残り1時間を切ると、LEDは完全に消えます。
- ・ バッテリーの電圧が低下すると5秒間警告音が鳴り、eL-720の電源が切れます。
- ・ 約10分間、何も操作せずに放置するとバッテリー保護のため自動的に電源が切れます。

バッテリーの収納と交換

1. 電源を切ってください。
2. ユニット裏側にあるバッテリーカバースクリューを緩めて、バッテリーカバーを外してください。
3. 乾電池の向きに気をつけて、4本の単3アルカリ乾電池を収納してください。
4. バッテリーカバーを戻して、ネジを締め付けてください。

センサ

eL-720のセンサは長時間故障しないように設計されています。センサはユニットの電源を入れるたびに検査、校正されます。センサが壊れると、電源を入れてから3秒後に2トーンアラームが鳴り、全てのLEDが点滅します。

センサの交換

センサが故障すると、センサ交換が必要になります。

1. ユニットの電源を切ってください。
2. センサカバースクリューを緩めて、センサカバーを外してください。
3. 1. 5mmのヘックスレンチを使用して、センサを固定している2本のネジを外してください。(ヘックスレンチはセンサ交換キットに付属)
4. 古いセンサを指でしっかりつかんで、センサ収納部から取り外してください。
5. 新しいセンサを表示通りに位置を合わせて、収納部に押し入れてください。
6. 1. 5mmのヘックスレンチで2本のネジを固定してください。
7. センサカバーを戻して、ネジを締め込んでください。

交換用センサキット：部品番号ELS-7C02

プローブフィルター

プローブフィルターはセンサがホコリや水分で汚れるのを防止します。定期的に変換してください。

1. プローブ先端のプラスチック製のキャップを外してください。
2. 古いフィルターを外して、新しいフィルターと交換してください。
3. プラスチック製のキャップを元通りにねじ込んでください。

メンテナンス

eL-720はバッテリー、フィルターとセンサの交換で長く使い続けることができます。ケースは中性洗剤を水で薄めて、含ませたタオルで拭き取ってください。決して、有機溶剤等は使用しないでください。

保証

eL-720の保証期間はご購入いただいた日より1年間です。

正常にお使いいただいている、壊れた場合は新品に交換するか、壊れた部品の修理にて対応させていただきます。

なお、間違った使い方、落下等による破損は保証の範囲外です。また、バッテリーやセンサ等の消耗品と火事、洪水、台風等の天災による破損も保証外です。

eL-720フィルターに関する重要情報

警告：eL-720のオプティカルセンサは水分やホコリを嫌います。フィルターを使用せずにユニットを操作することはセンサを汚染させる原因になります。センサの故障をまねき、センサアラームが鳴ります。

フィルターが水分やホコリで詰まることがあります。エアがセンサに適切に流れているか見るためにプローブチップの近くからやさしくセンサ内にエアを吹き込んでください。人の息には高感度モードでフルアラームを鳴らすほどの二酸化炭素が含まれています。ユニットのアラームが鳴らなければ、プローブフィルターの項を参照にしてフィルターを交換してください。

フィルターが水分等でぬれている時は次の方法でセンサが水分で汚染することを防止してください。

1. ペーパータオルやウェスを 사용하여、プローブチップキャップを外す前にプローブチップの水分を拭き取ってください。
2. フィルターを外すためにプローブチップキャップを緩めてください。
3. フィルターを外す前に、フィルターホルダーやフィルターに付いている水分をペーパータオルやウェス等で拭き取ってください。フィルターキャップの内側、外側も同様に。
4. 古いフィルターを取り、新しいフィルターと交換してください。
5. プローブチップキャップを取付けてください。ユニットはいつでも使用することができます。

上記のようなことを怠るとさらにまた新しいフィルターの汚染を引き起こします。オプティカルセンサに水分が残っている可能性があり、センサアラームを鳴らす原因になります。この場合はセンサを蒸留水やイソプロピレンアルコールで洗う必要があります。次の手順に従ってください。

1. **重要**：センサ交換の2項に書かれているように、収納箇所からセンサを外してください。
2. プローブチップからキャップとフィルターを外してください。
3. プローブチップ内に圧縮エアを吹き込んで、水分を吹き飛ばしてください。
4. センサの入口出口に圧縮エアを吹いてください。
5. 数滴の蒸留水かイソプロピレンアルコールをセンサの入口出口に入れてください。
6. 圧縮エアをセンサの入口出口に吹き込んで、残っている液体を吹き飛ばしてください。センサ外側も完全に乾燥させてください。
7. センサを収納し、プローブチップに新しいフィルターを取付けてください。これでユニットはいつでも使用することができます。

